



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住本 憲隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 早川 崇 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	234,890	10.3	29,824	57.1	33,646	65.1	25,132	64.6
2023年3月期第2四半期	212,940	24.9	18,978	28.3	20,378	29.7	15,270	39.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 45,467百万円 (18.5%) 2023年3月期第2四半期 38,359百万円 (200.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	246.09	—
2023年3月期第2四半期	149.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	545,008	444,012	79.1
2023年3月期	497,083	404,750	78.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 431,323百万円 2023年3月期 392,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2024年3月期	—	60.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2024年3月期における1株当たり中間配当金については、40円から60円に変更しております。詳細については、本日（2023年10月31日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当・増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	466,000	6.9	52,000	28.9	57,000	30.4	43,000	29.8	421.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、 除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	110,881,044株	2023年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,754,047株	2023年3月期	8,753,672株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	102,127,106株	2023年3月期2Q	102,127,628株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに回復する状況にありました。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は234,890百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は29,824百万円（前年同四半期比57.1%増）、経常利益は33,646百万円（前年同四半期比65.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25,132百万円（前年同四半期比64.6%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、149.58円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、144.81円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和から経済活動が正常化したことで、一部の量販店中食や食品宅配事業向け等の商品はその反動によって低調に推移したものの、コンビニエンスストアの来店客数は回復し、業務用・外食用食材への需要が本格的に持ち直してきました。その結果、売上高は15,034百万円（前年同四半期比5.1%増）、セグメント利益は、全体的に増収ではあったものの、一部商材での減収や仕入コストをカバーできなかったこと等から165百万円（前年同四半期比32.9%減）となりました。

海外即席麺事業は、米国では第1四半期連結会計期間に発生した一部得意先の在庫調整による影響が残りましたが、7月以降の受注数量は回復傾向となり、メキシコでは主力商品のカップ麺、袋麺ともに好調に推移したこと、及び2022年10月に米国、メキシコで実施した価格改定による販売単価の上昇により増収となりました。その結果、売上高は106,073百万円（前年同四半期比19.8%増）、セグメント利益は、原材料費や人件費の増加等による製造コストの上昇を売上高の増加等によりカバーし21,210百万円（前年同四半期比93.6%増）となりました。

国内即席麺事業は、前年度に続き、6月に実施した2年連続の価格改定や猛暑等の影響により、カップ麺では主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」・「麺づくり」シリーズ等がやや苦戦いたしました。また、「MARUCHAN QTTA」シリーズや「ごつ盛り」シリーズ、レギュラーオープンプライス商品等が牽引し増収となりました。袋麺では「マルちゃんZUBAAN!」シリーズが目標に届かず減収となりました。その結果、売上高は43,732百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は、人件費等の増加はあったものの、販売促進費や広告宣伝費等の減少により2,825百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

低温食品事業は、主力商品の拡売と新商品の積極的な発売により好調に推移いたしました。生麺では「マルちゃん焼そば3人前」シリーズ、「マルちゃんの冷し生ラーメン3人前」シリーズ等の主力商品に加え、新商品の「ごほうび冷し中華2人前」シリーズが売上の増加に寄与いたしました。冷凍食品では行動制限が緩和され、人流が回復したことにより業務用商品が伸びました。その結果、売上高は29,265百万円（前年同四半期比7.6%増）、セグメント利益は、原材料費や製造経費の増加はあったものの、価格改定効果と売上の拡大により3,873百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

加工食品事業は、米飯商品、魚肉ハム・ソーセージ商品等が順調に推移いたしました。また、フリーズドライ商品等が苦戦いたしました。米飯商品では価格改定や前年度の在宅療養者向け需要が一段落した影響もありましたが、ほぼ前年度並みに推移いたしました。フリーズドライ商品では価格改定や猛暑等の影響により販売が落ち込み、減収となりました。その結果、売上高は9,204百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益は、動力費等の減少はあったものの、販売促進費や人件費等の増加により152百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

冷蔵事業は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで、配送等の取扱いが増加したことに加え、冷蔵倉庫料金の価格改定にも努めたことにより増収となりました。その結果、売上高は12,122百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は、人件費や補修費等の増加による影響はあったものの、配送収入の増加や冷蔵倉庫料金の価格改定等の増収効果もあり1,270百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は19,458百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益は588百万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は47,925百万円増加し、545,008百万円、純資産は39,261百万円増加し、444,012百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、有価証券が増加しました。負債は、主に未払法人税等が増加しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は79.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ19,745百万円(52.6%)増加し、57,312百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ18,654百万円(120.5%)増加し、34,136百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、8,552百万円(前年同四半期は1,699百万円の収入)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が減少しましたが、有価証券の取得による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1,006百万円(18.9%)増加し、6,336百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2023年5月12日に公表しました2024年3月期の連結業績予想は、本日(2023年10月31日)発表のとおり修正を行っております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2024年3月期(通期)連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,013	148,791
受取手形、売掛金及び契約資産	59,444	63,847
有価証券	62,000	76,000
商品及び製品	15,533	19,162
仕掛品	423	466
原材料及び貯蔵品	18,449	18,675
その他	5,850	5,988
貸倒引当金	△638	△791
流動資産合計	285,076	332,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,477	73,417
機械装置及び運搬具（純額）	44,141	44,493
土地	35,291	35,718
リース資産（純額）	1,639	1,571
建設仮勘定	4,220	6,681
その他（純額）	1,151	1,153
有形固定資産合計	159,922	163,035
無形固定資産		
その他	2,553	2,674
無形固定資産合計	2,553	2,674
投資その他の資産		
投資有価証券	29,164	33,530
長期預金	18,000	11,000
繰延税金資産	1,292	1,521
退職給付に係る資産	44	37
その他	1,028	1,068
投資その他の資産合計	49,530	47,157
固定資産合計	212,006	212,868
資産合計	497,083	545,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,320	33,486
短期借入金	377	387
リース債務	294	304
未払費用	25,558	25,206
未払法人税等	3,301	9,608
役員賞与引当金	120	99
資産除去債務	4	13
その他	2,671	2,792
流動負債合計	64,648	71,899
固定負債		
リース債務	3,075	2,998
繰延税金負債	2,447	3,999
役員退職慰労引当金	318	314
退職給付に係る負債	20,245	20,012
資産除去債務	213	205
その他	1,382	1,565
固定負債合計	27,683	29,096
負債合計	92,332	100,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,941	22,941
利益剰余金	326,158	345,163
自己株式	△8,236	△8,238
株主資本合計	359,833	378,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,899	11,791
繰延ヘッジ損益	△34	99
為替換算調整勘定	25,305	42,289
退職給付に係る調整累計額	△1,826	△1,694
その他の包括利益累計額合計	32,343	52,486
非支配株主持分	12,573	12,689
純資産合計	404,750	444,012
負債純資産合計	497,083	545,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	212,940	234,890
売上原価	160,376	170,076
売上総利益	52,563	64,814
販売費及び一般管理費	33,584	34,989
営業利益	18,978	29,824
営業外収益		
受取利息	565	2,844
受取配当金	334	360
持分法による投資利益	64	38
雑収入	622	926
営業外収益合計	1,586	4,169
営業外費用		
支払利息	112	112
貸倒引当金繰入額	12	152
雑損失	61	82
営業外費用合計	186	347
経常利益	20,378	33,646
特別利益		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	111	13
その他	2	7
特別利益合計	114	21
特別損失		
固定資産除売却損	166	123
減損損失	3	149
災害による損失	68	—
その他	8	1
特別損失合計	247	275
税金等調整前四半期純利益	20,245	33,392
法人税、住民税及び事業税	4,658	8,525
法人税等調整額	134	△315
法人税等合計	4,793	8,209
四半期純利益	15,451	25,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	180	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,270	25,132

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	15,451	25,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	3,001
繰延ヘッジ損益	81	133
為替換算調整勘定	22,768	16,983
退職給付に係る調整額	173	141
持分法適用会社に対する持分相当額	73	24
その他の包括利益合計	22,907	20,284
四半期包括利益	38,359	45,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,197	45,275
非支配株主に係る四半期包括利益	162	191

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,245	33,392
減価償却費	7,996	8,326
減損損失	3	149
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16	△3
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△114	△21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	153
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107	△25
受取利息及び受取配当金	△899	△3,204
支払利息	112	112
持分法による投資損益 (△は益)	△64	△38
有形固定資産除売却損益 (△は益)	166	122
売上債権の増減額 (△は増加)	317	△3,640
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,227	△2,561
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,056	508
未払費用の増減額 (△は減少)	△815	△812
その他	△1,283	1,931
小計	20,596	34,389
利息及び配当金の受取額	523	2,252
利息の支払額	△112	△112
法人税等の支払額	△5,525	△2,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,481	34,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△46,930	△41,489
定期預金の払戻による収入	50,477	48,806
有価証券の取得による支出	△41,000	△57,000
有価証券の償還による収入	48,000	48,000
有形固定資産の取得による支出	△8,470	△6,153
有形固定資産の売却による収入	3	4
無形固定資産の取得による支出	△381	△673
投資有価証券の取得による支出	△16	△16
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△887	△944
貸付金の回収による収入	892	922
その他	12	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,699	△8,552

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	535	337
短期借入金の返済による支出	△546	△327
配当金の支払額	△5,100	△6,121
非支配株主への配当金の支払額	△76	△72
その他	△141	△152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,330	△6,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	691	498
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,542	19,745
現金及び現金同等物の期首残高	29,351	37,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,893	57,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	13,898	—	43,211	27,190	9,573	11,632	105,506	18,377	123,883	—	123,883
米州	2	88,526	—	—	—	—	88,528	—	88,528	—	88,528
その他	399	—	—	—	—	—	399	128	527	—	527
売上高(注) 4	14,300	88,526	43,211	27,190	9,573	11,632	194,434	18,505	212,940	—	212,940
外部顧客への売上高	14,300	88,526	43,211	27,190	9,573	11,632	194,434	18,505	212,940	—	212,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	582	—	42	5	—	509	1,139	13	1,153	△1,153	—
計	14,882	88,526	43,253	27,195	9,573	12,141	195,573	18,519	214,093	△1,153	212,940
セグメント利益	246	10,954	2,669	3,193	354	1,204	18,623	806	19,429	△451	18,978

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△451百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△613百万円、棚卸資産の調整額△112百万円及びその他の調整額273百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	14,927	—	43,732	29,265	9,204	12,122	109,251	19,373	128,624	—	128,624
米州	—	106,073	—	—	—	—	106,073	—	106,073	—	106,073
その他	106	—	—	—	—	—	106	85	192	—	192
売上高(注) 4	15,034	106,073	43,732	29,265	9,204	12,122	215,431	19,458	234,890	—	234,890
外部顧客への売上高	15,034	106,073	43,732	29,265	9,204	12,122	215,431	19,458	234,890	—	234,890
セグメント間の内部 売上高又は振替高	669	—	41	4	0	551	1,266	21	1,287	△1,287	—
計	15,703	106,073	43,773	29,269	9,204	12,673	216,698	19,480	236,178	△1,287	234,890
セグメント利益	165	21,210	2,825	3,873	152	1,270	29,497	588	30,086	△262	29,824

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△262百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△699百万円、棚卸資産の調整額54百万円及びその他の調整額382百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。